

目次

2017ハイライト！	1
長岡京市第二期環境基本計画について	3
1. エネルギーを大切にするまちづくり	4
2. 資源循環型社会の形成	13
3. 自然環境の保全	18
4. 快適な都市環境づくり	23
5. 協働・環境学習・エコアクションの推進	29
●長岡京市第二期環境基本計画進捗状況について	34
●平成29年度全体の評価	35
●長岡京市生活環境審議会の評価・意見および市の考え方	36

2017ハイライト！

第9回環境フェアの開催

平成29年11月18日（土）長岡京市立中央公民館・市民ひろばで9回目となる環境フェアを開催しました。今回は“取り組もう！美しい地球（ほし）を守るため”をテーマに34の事業所や環境ボランティア団体などの出展がありました。出展数は昨年度と同じですが、初出展の団体等出展者もあり、今まで以上に幅広い活動を知ってもらえる場となりました。なお環境フェア当日は昼ごろまで雨が降っていたにも関わらず約800名の来場があり、各ブースは多くの参加者でにぎわい、活気に満ち溢れたイベントとなりました。

またブースでの出展以外にも市民ホールでは各種表彰式や「子ども環境フェスティバル」を開催しました。「子ども環境フェスティバル」では3名の個人発表と神足小学校、長岡第六小学校の2校による団体発表がありました。個人発表では夏休みに取り組んだ自由研究について、団体発表では日頃から学校で取り組んでいることについて各小学校の特色のある取り組みについて発表がありました。

なお参加された方からは、「子どもが色んな体験ができてよかった。」や「来年もまた来たい」など嬉しい声をいただいています。

来年は第10回の環境フェアとなります。環境ボランティア団体や事業所のみなさんと一緒に、子どもから大人まで環境について楽しく学べ、一人でも多くの方に実践していただけるようなイベントにしていきます。今後も環境フェアを通じて“環境の都”長岡京の輪を広げていきます。



平成29年度“環境の都”賞受賞者



加藤 克巳さん

10年以上にわたり本市で活動している長岡京市環境の都づくり会議及び長岡京市里山再生市民フォーラムなどのメンバーとして熱心に活動を続けられています。その活動内容は主に西山をフィールドに、環境フェアや各種環境イベントへの参加、西山森林整備推進協議会の事業である西山ファミリー環境探検隊の企画・運営などです。そのなかでも小学生の親子を対象とした西山ファミリー環境探検隊では、開始当初より、リーダーとして準備から本番に至るまで中心的に活動されています。そのほかにも小学校の校外学習などを通じて、子どもたちに西山の自然と触れ合う機会を提供されるなど、環境教育にも貢献されています。



三菱製紙株式会社京都工場

昭和19年2月に写真印画紙の試紙工場として誕生し、科学技術の急速な進展とともに新たな製品開発に尽力されています。平成5年には三菱製紙株式会社として「環境憲章」を制定され、さまざまな環境の取り組みを実施されています。平成13年からはFSC森林認証を受け、紙の材料となる木材についても環境に配慮されています。また西山森林整備推進協議会主催の西山森林ボランティア行事にも積極的に参加され、西山の緑と水の保全にもご尽力いただいています。環境学習の面でも環境フェアへの参加や市内小学校への出前教室の実施など、同社における環境の取り組みについて啓発されるとともに地域における環境保全に貢献されています。

マイクロ水力発電設備を導入



市では平成29年9月に株式会社DK-Powerと締結した『再生可能エネルギー導入（小水力発電）事業に関する協定』に基づき、府営水受水施設である北ポンプ場（井ノ内）にマイクロ水力発電設備（ダイキン製（株）22kWクラスを設置した。このシステムは、府営水道受水における高低落差による未利用エネルギーを活用するシステム

を官民連携で構築し、年間最大発電量を194千kWh（約60世帯分※¹）と見込んでいます。この設備で発電した電力は協定に基づきFIT価格にて全量売電の予定です。

※1）1世帯あたり271.2kWh/月で算出（出典：原子力・エネルギー図面集2015）

